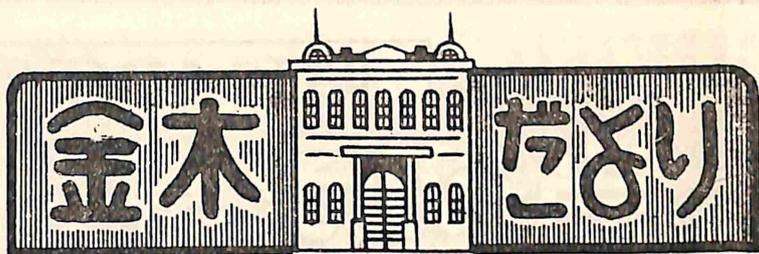


昭和48年度

当初予算

特集号



発行 青森県金木町役場

編集 企画室

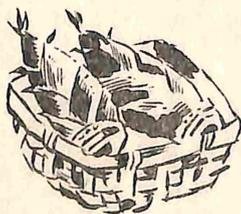


(自然美が愛される 環境のよい 県立 芦野公園)

自然に親しむ

長い冬もようやくおわり、家の周囲には春の気配が感じられます。コート脱ぎ捨てて、春の野山へ出かけましょう。柔らかな春の日差しの中、蝶が舞い、小鳥がさえずり、さくらやつつじ、そして椿などが、春の光を浴びて成長しています。まるで生物も春のおとずれを喜んでいるかのようにです。大自然のなかにとびこみ、新鮮な空気を胸いっぱいに入らしましょう。

一見、のどかな大自然は、どのようにして秩序が保たれているのでしょうか。一定の限度をこえて環境が破壊されると、ふたたびもとにかえりません。自然破壊によって、自然界はその影響をうけ、人命をもおびやかされています。春の日差しのおかげで、人間も自然のなかの一部であることを再認識する必要があるのではないのでしょうか。



昭和48年度

当初予算決まる

第六十四回定例会

☆ 四十八年度の当初予算は、三月二十日から二十七日 ☆

☆ までの八日間にわたって開かれた第六十四回町議会 ☆

☆ 定例会で原案どおり可決されましたが、予算規模は ☆

☆ 歳入歳出とも昨年度の当初予算額より二十二・六% ☆

☆ の一億四千三百五十七万三千円上廻る七億七千八百 ☆

☆ 五十七万三千円と大型な予算となりました。 ☆

第六十四回金木町議会定例会は三月二十日に招集し、二十七日まで八日間にわたって開かれました。

会期中には、昭和四十八年度一般会計当初予算のほか、金木町名誉町民条例制定の件、金木町役場支所設置条例を廃止する条例の件ならびに金木町総合計画基本構想策定の件など、二十三議案を原案どおり可決承認しました。成立議案の主なものとはつぎのとおりです。

◇専決処分報告について

職員等の四等級制から五等級制への移行および移動等により、各款ごとの職員給について専決し、百七十七万九千円を追加した累計予算額を七億六千九百九十五万六千円としました。この歳入としてはたばこ消費税および電気ガス税をあげました。

◇昭和四十七年度金木町一般会計補正予算について

年度末に当り、国庫支出金を伴うもの、国の割当による事業費の追加、減額等今後の事態の推移に対処しての補正であり、その予算額は歳入歳出それぞれ八百五十四万四千円を追加し、最終予算額を七億七千四百五十万円で定めたものです。

歳出の主なるものは、国民健康保険特別会計（直診勘定）への繰入金三百万円をはじめ、りんご黒星病の被害樹伐採補償費の追加分百二十二万七千円が主なもので、そのほか年度末における必要経費などの追加更正をしたものです。

歳入としては、町債および国庫

支出金を主としたほか、普通および特別交付税、その他の収入をあげて収支の均衡をとりました。

◇昭和四十七年度金木町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算について

療養給付費および療養費等の支払いに必要な経費一千六百九十九万八千円を補正し、最終予算額を一億七千九百九十七万七千円としました。

この歳入としては、保険税および国庫支出金、それに前年度繰越金をあげました。

◇昭和四十七年度金木町国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算について

喜良市診療所は、年度の途中から開業したので、診療収入が当初の見込額より少なかったため、一般会計から三百万円の繰り入れと薬品代百万円を減額するための補正であります。

◇昭和四十八年度金木町一般会計予算について

昭和四十八年度の重点目標としては、弘前大学小林教授を主班とする調査団から報告された金木町振興対策基本調査の結果に基づいて、金木町総合計画を策定し、目標年次を十年後の昭和五十七年度に実施計画を樹てることです。

したがって四十八年度の当初予算は実施計画に先だつたものとなりますが、そのためこのたびの当初予算は、四十六年度から継続の嘉

総務費
1億3,660万8千円

農業の近代化を図り

小田川地区かん排事業に

同 圃場整備計画に

九百六十万円

総額一億三千六百六十八万八千円の総務費は、職員の給料、諸手当共済費などがその大半を占め、特に県営小田川地区かんがい排水事業費補助金として六百九十五万円同じく小田川地区の圃場整備調査計画補助金として二百六十五万円にウェイトを置いたものですが、項目別に主なものをあげれば次のとおりです。

総務管理費

① 一般管理費 七四、八〇一千元

職員給料三千三百三十一万八千円、諸手当一千八百二十二万一千円、共済組合負担金三百五十八万八千円、費用弁償四十万円、普通旅費百三十万円、特別旅費五十万円を合わせた二百二十万の旅費、

② 文書広報費 四二六千元

広報金木だより発行経費七回分三十万円が主で、他は旅費、消耗品費など。

③ 財政管理費 一五千元

④ 会計管理費 一九〇千元

⑤ 財産管理費 八、一二一千元

この予算の大部分は役場庁舎の維持管理費で、その主なものは、燃料費（ガス、暖房用重油、自動車ガソリン等）三百十万八千円、

医師謝礼二万四千円、母子旅行六万円、措置費徴収謝礼六万円の報償費、旅費が十万円、需用費では保育消耗品費百五十四万八千円、事務消耗品費八万円、光熱水費十四万四千円と、燃料費(給食用、暖房用)四十七万五千円、給食原材料費の四百四十四万五千円です。修繕費の二十万円は第一保育所(金木)十万円、第二(金木)が五万円、第四(喜良市)が五万円となっています。

役務費として通信運搬費十二万円、汲取手数料六万円、洗たく料の二万円が主です。

使用料及賃借料五万二千円は、第三保育所敷地借上料二万四千円自動車およびアンパ借上料の二万八千円です。

工事請負費として、第三保育所(嘉瀬)の砂遊び場四万円、備品購入費の四十万円は、第一、第二第三、第四に各十万円となっており、児童の災害見舞として扶助費

に二万円が盛りられています。

④ 季節保育所費 三〇二千元

季節保育所の開設予定は、藤枝(集会所)、中柏木(集会所)、更生部落(神社)の三地区で、その予算として、保母賃金二十万四千円、おやつ代五万二千円、保育消耗品四万二千円、燃料費の四万円です。

⑥ 児童館費 五、七八六千元

職員給料、諸手当等四百十萬五千円と人件費が主で、ほか、報償費(医師謝礼、母子旅行、回収金徴収謝礼)四万六千円、旅費二万円、需用費として消耗品費の四十四万円(事務用四万円、保育用四十万円)、食糧費、印刷製本費、

光熱水費あわせの五万六千円、燃料費十二万円、間食代五十二万八千円、修繕料は川倉児童館六万八千円、蒔田児童館の三万円です。また、役務費七万円、借上料一万円と、備品購入費には、遊具五万二千円、石油ストーブ二万四千円カラーテレビ七十五万円、図書、毛布など二万七千円のほか、扶助費の一万円が見られています。

⑥ 児童措置費 一八、〇四〇千元

旅費二万円、消耗品、印刷製本費一万円、扶助費として、被用者児童手当百四十四万円、非被用者児童手当二千六百五十六万円がもり込まれています。

遺児となつた

児童・生徒を

対象に

⑦ 遺児対策費 四八五千元

(一)内は対象人員 慰謝激励金(百二十人)六万円 入学祝金(二十人)十万円、卒業祝金(二十五人)十七万五千円、弔慰金(十五人)十五万円

国民年金事務取扱費

① 国民年金事務取扱費 五、二八九千元

職員給料、諸手当、共済費等四百十二万一千円、報償費(納入組織報償金 八十四万五千円、旅費八万円、消耗品費三万円、食糧費一万円、印刷製本費十七万一千円 通信運搬費一万円等。

衛生費 2,438万9千元

本年度より 県からの 派遣保健婦配置

保健衛生費

① 衛生総務費 一、七二二千元
派遣保健婦負担金百四十万円が主なものです。

清掃費

① 塵芥処理費 五、一九二千元
ゴミ収集車購入費二百八十万円のほか、ゴミ収集人夫賃百五十三万二千円等。

農業費

① 農業委員会費 一、〇〇五千元
② 農業振興費 二四、八四〇千元

農林水産業費 8,231万6千元

畑作営農パイロット 野菜加工センターに助成

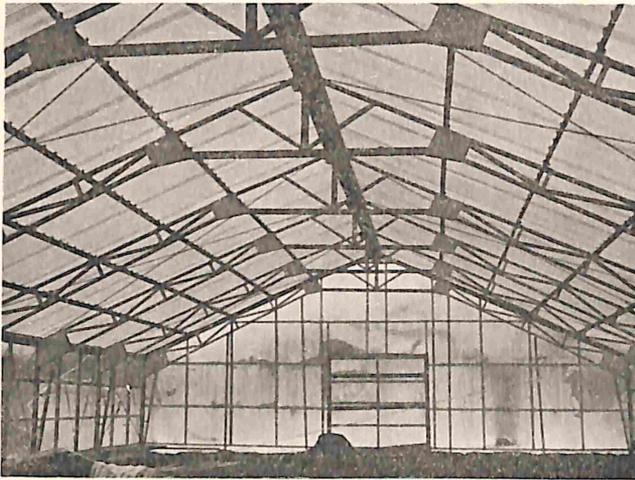
山村振興法による 町道整備にも 一千九百万円

農林水産業費の八千二百三十一万六千円は、昨年度より継続の畑作営農パイロット事業の助成金として六百四十万二千円、また新規事業である野菜加工センター設置の助成金五百八十万円、それに特産物生産団地育成事業に対する助成金が二百二十四万円、さらに山村振興法に基づいた町道(柏木線)整備事業費一千九百万八千円などが主なものです。

昭和48年度歳入 (単位千円)

区分	昭和48年度歳入	構成比(%)
1. 地方譲与税	101,676	13.1
2. 地方交付金	7,305	0.9
3. 地方交付金	6,600	0.8
4. 地方交付金	436,556	56.1
5. 地方交付金	600	0.1
6. 地方交付金	6,728	0.9
7. 地方交付金	8,636	1.1
8. 地方交付金	97,585	12.5
9. 地方交付金	38,646	5.0
10. 地方交付金	2,325	0.3
11. 地方交付金	5,000	0.6
12. 地方交付金	14,516	1.9
13. 地方交付金	52,400	6.7
14. 地方交付金	778,573	100
15. 地方交付金		
16. 地方交付金		
合計		

〔普農パイロット育苗施設〕



- ⑤ 国土調査事業費 一〇、一三四千円
人件費のほか、一筆調査人夫賃
- ④ 畜産費 一、五一〇千円
草地改良開発事業助成二十五万二千円、畜産振興対策助成（養豚養鶏、酪農、養兔）百十三万三千円が主なものです。
- ③ 畜産費 一、五一〇千円
草地改良開発事業助成二十五万二千円、畜産振興対策助成（養豚養鶏、酪農、養兔）百十三万三千円が主なものです。
- ② 畜産費 一、五一〇千円
草地改良開発事業助成二十五万二千円、畜産振興対策助成（養豚養鶏、酪農、養兔）百十三万三千円が主なものです。
- ① 畜産費 一、五一〇千円
草地改良開発事業助成二十五万二千円、畜産振興対策助成（養豚養鶏、酪農、養兔）百十三万三千円が主なものです。

商工費
2,260万8千円

商工業者への融資に

一千万円を出資

観光協会へも補助

など、五十七万四千円、測量委託料四百八十四万三千円、面積計算委託料五十二万二千円、副図作成委託料十一万円、計算機など備品購入費として二十一万円等が主としたものです。

⑥ 山村振興事業費

一九、〇〇〇千円
柏木線工事請負費一千五百七十七万円、道路拡巾による用地買収

林業費

① 林業総務費 二、二六六千円

職員給のほか、森林火災及盗伐防止委託料十八万三千円、県市村林野対策協議会負担金および各団体の助成金八万二千円が主。

町内商工業者の資金借入者の保証金として、県信用保証協会への出資金一千万円をはじめ、公園整備費の二百七十万円と金木町観光協会に四百四十万円の補助金等が計上されています。

商工費

① 商工総務費

三、〇三五千円
公園管理人報酬および職員給料、諸手当など経常的なものです。

② 商工振興費

一、一、二〇〇千円
商工会助成百円、県信用保証協

土木費
1億693万円

町営住宅建設に

二種 十五戸 二千九百二十万円

町道整備にも配慮

装輪式除雪ドーザー購入費の五百七十二万一千円、広域行政圏計画による町道整備費として二千九百二十万、町営住宅建設工事費の二千九百二十万六千円等がその主なものです。

土木管理費

① 土木総務費 二四、七一八千円

道路橋梁費

① 道路維持費 五、四八四千円

昭和48年度歳出 (単位千円)

科目区分	予算額	構成比
議 会 費	23,329	3.0
総務費	136,608	17.6
民生費	120,403	15.5
衛生費	24,389	3.1
労働費	1,663	0.2
農業費	82,316	10.6
林業費	22,608	2.9
水産費	106,930	13.7
工業防育債	51,198	6.6
支 出 費	147,486	18.9
支 出 費	45,100	5.8
支 出 費	15,043	1.9
支 出 費	1,500	0.2
合 計	778,573	100

会出資金一千万円公園整備人夫賃など三十二万円、公園整備の工事請負費二百七十万円、原材料費は肥料および薬剤購入代十九万円、砂利購入費八万円、苗木及び種子購入費十万円が見られ、備品購入費の動物購入費十万円のほか、金木町観光協会への補助四百四十万円、県観光連盟津軽国定公園指定促進協などの負担金四万二千円が主なもの。

② 道路新設改良費

四二、七二八千円
工事請負費が大部分であり、側溝に八百四十三万円（金木四七三万円、嘉瀬一一〇万円、喜良市二六〇万円）、護岸に三百二十七万円（金木二〇〇万円）、嘉瀬二七万円（喜良市一〇〇万円）、広域行政圏計画による町道整備費として二千三百三十万円（道路改良二千九百二十万円、舗装二百三十万円）をあて町道整備用地購入費百二十五万円、県単事業負担金として舗装分に三百六十万円、側溝分に五十七万八千円、また、電柱移転負担金が九十万円、さらに道路改良木柵等償が百四十万円になっています。

③ 橋梁維持費

一、一〇〇千円
田町、小栗崎コンクリート橋梁

普工事請負費六十五万円、中柏木の津鉄跨線橋、夕陽橋修理原材料費が四十五万円。

④河川総務費 一、七二〇千円
岩木川堤防管理委託料八十六万円、金木川、小田川堤防雑木刈払委託料七十七万円、河川協会負担金七千円、砂防協会負担金三万八千円。

住宅費

①住宅管理費 一、九七四千円
住宅の畳修理、建物修理、給水施設修理など百九十一万円の需用費が主。

②住宅建築費 二九、二〇六千円
工事請負費二千三百六千円は町営住宅（第二種）十五戸分と給

消防費
5,119万8千円

新鋭ポンプ自動車配置

津軽北部消防組合負担金の三千九百二十九万九千円が最も大きくつづいて神原、中柏木、更生部落地区に新設する防火水そう等の工事請負費が三百四十五万円、また喜良市地区に配置する消防ポンプ自動車購入費の二百八十五万円が主なるものです。

喜良市地区には

神原、中柏木、更生部落には

防火水そう新設

③消防施設費 六、三五〇千円
防火水そう新設工事費（三基）二百五十五万円、ホース乾燥台二十九万円、鉄骨警鐘台塗装工事二十一万円、ポンプ置場修繕四十四万円、備品購入費はポンプ自動車、トランシーバー合せて二百九十九万円で。

消防費

①常備消防費 三九、二九九千円
津軽北部消防事務組合負担金三千九百二十九万九千円。

②非常備消防費 五、三五四千円
報酬百三十三万六千円、報償費二十万円、旅費は普通旅費、全国消防大会特別旅費で三十五万円、需用費百六十四万九千円、役員費十一万二千円、消防施設敷地料として使用料及賃借料が十三万六千円、備品購入費

教育費
1億4,748万6千円

教育総務費

老朽化した喜良市小学校第一期工事費と、中央公民館建設事業費第一年度分一千五百万円などがその主なるものです。

①教育委員会費 一五八千円

喜良市小

第一期工事費

中央公民館第一年度分

一千五百万円など

旅費二万円、需用費六万五千元、水防倉庫備蓄資材五万円、水防団助成金五万円等です。

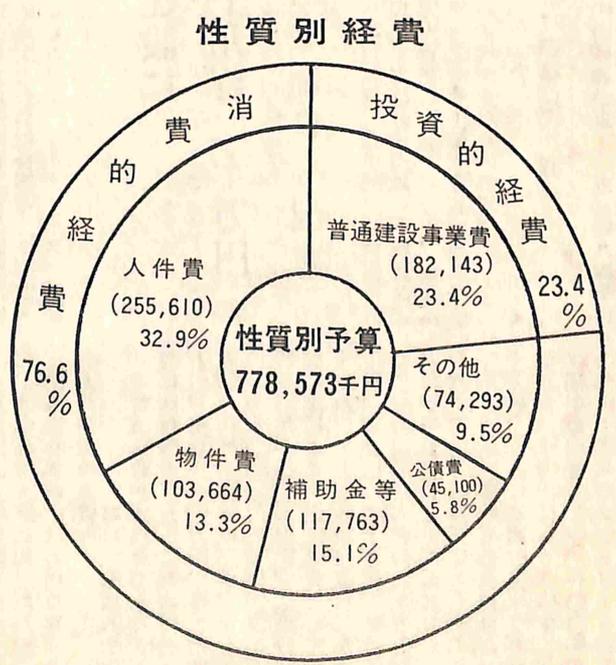
小学校費

①学校管理費 三二、三七六千円
②学校建設費 五九、三四二千円
喜良市小学校設計、地質調査委託料三百二十万円、嘉瀬小屋体工事請負費、同校庭整備工事費で二千十三万二千円、喜良市小第一期工事請負費三千五百四万円が主です。

中学校費

①学校管理費 一一、〇九〇千円
②教育振興費 九一五千円
理振法による備品購入費（金中四十四万円、南中四十七万五千

【整備中の柏木線道路】



円)です。

社会教育費

① 社会教育総務費 四、七〇三千元

② 公民館費 三、六二五千元
人件費、備品購入費が主です。

③ 公民館建設費 一五、〇〇〇千元

中央公民館設計委託料と工事請負費が主です。

保健体育費

① 保健体育総務費 一、七〇七千元

② 社会体育費 一、〇八七千元

③ 体育施設費 九八〇千元
芦野グラウンド整備、スキー場整備等です。

公債費

4,510万円

公債費

① 元金 二二、五一三千元

② 利息 二一、四八七千元

③ 公債諸費 一〇〇千元

長期償還元金 長期償還元金 (長期借入金)の本
年返済の元金です。

長期償還元金 長期償還元金 (長期借入金)の本
年返済の元金です。

諸支出金

一、五〇四万三千元

奨学金貸与基金積立金

① 積立金 九五四千元

予備費

一五〇万円

予備費

① 予備費 一、五〇〇千元

児童手当現況届の提出はおはやめに

児童手当現況届の提出はおはやめに

家庭生活の安定と児童の健全な育成・資質向上をはかるための一つの制度として、児童手当制度があります。この制度の改正により四月から支給対象となる児童の範囲が拡大されることにより、対象人員が大幅に増加しております。ところで、この制度によって児童手当の支給を受けている方は、すべて毎年一回、六月一日から同月三十日までの間に「児童手当現況届」を町長(公務員の方は勤務先、以下同じ)に提出しなければならぬことになっております。この「児童手当現況届」によって、町長は児童手当の支給を受けている方の前年の所得の状況や児童の養育の状況などについて確認し、引き続いて児童手当の支給を受けることができるかどうかをみることになっております。

もし、この届が提出されないと引き続いて支給を受ける資格があつても、六月分からの児童手当の支給を受けることができなくなりますからご注意ください。

かけ金をかけきれない人

一年金係に届出して下さい

将来、年金をうけるために、かけ金を納めたいのはやまやまのすがすがしい生活が苦しくてもうならない。という人たちがいると思いません。

そのような人々を救うために国民年金では保険料を免除してもらうことができます。

しかし、免除はほんとうに生活が苦しい人だけに限られており、また、国民年金をやめるとか、永久にかけ金を納めなくてもよくなる、ということではなく、生活が楽になるまで一時かけ金を免除し

国民年金証書は忘れず提出を

福祉年金をうけている皆さん

お年寄りの皆さんや、心身の障害者、夫に死別した母子世帯の人などで、福祉年金をうけている人は、毎年六月までに「国民年金証書」を年金係に提出していただくことになっております。

役場では、国民年金証書と一緒に、福祉年金をうけている本人や配偶者、福祉年金をうけている人を扶養している人の昭和四十七年中の所得状況を県に報告します。それにより県では今年の五月から来年四月までの一年間の福祉年金がうけられるかどうかを決め、そして支払金額を証書に記入することになっております。

この改正により、これまで年金の支払いがとめられていた人でも今年からはもらえるようになるかもしれませんので、証書は忘れず提出して下さい。

もし、届出もせずかけ金を滞納しますと、年金がうけられないことにもなります。また、免除をうけますと、うける年金額が三分の一になります。あとでさかのぼって納めれば満額の年金がうけられますので、免除をうける人は生活が楽になったら必ず追納するようにして下さい。



戸籍の窓

ご誕生おめでとうございました

(四月届出分)

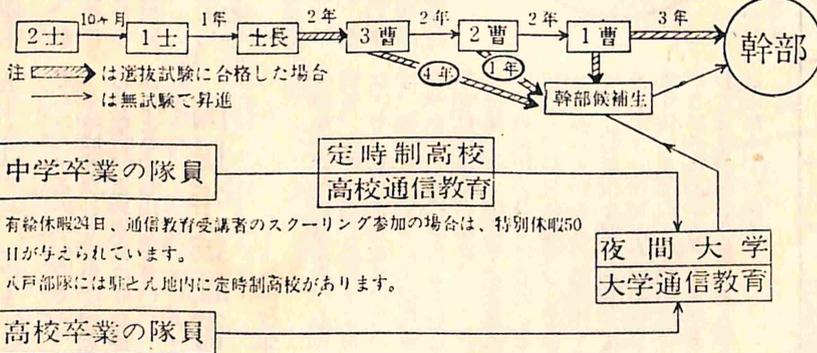
ご結婚おめでとうございました

(四月届出分)

泉谷 崇大 (弘幸 2男) 川倉	高田美保子 (昇 長女) 嘉瀬	大橋さゆり (幸則 長女) 喜良市	花田恵美子 (文男 2女) 川倉	田中 靖司 (靖六 2男) 川倉	竹内実佳子 (浩 長女) 藤枝	黒川 幸人 (武美 2男) 嘉瀬	泉谷 美好 (豊 長女) 川倉	小山内克夫 (舜 長男) 嘉瀬	長尾 明美 (匡時 2女) 嘉瀬	黒川菜穂子 (慶治 長女) 嘉瀬	鳴海 新子 (等 3女) 嘉瀬	秋元 従子 (忠蔵 2女) 嘉瀬	山中 恵 (石太郎 長女) 嘉瀬	中谷 静香 (勝治 2女) 嘉瀬	伊藤 淳 (博 長男) 喜良市	松川 直子 (春雄 長女) 嘉瀬	白川 昭子 (良昭 2女) 川倉	伊藤 貴仁 (光雄 長男) 金木	大橋 一友 (昭彦 長男) 金木	太田 渡 (時郎 長男) 喜良市	熊谷 忠光 (光男 長男) 金木	泉谷寿美子 (哲夫 長女) 嘉瀬	吉田 和葉 (隆雄 長女) 時田	白川 春樹 (勝 長男) 金木	泉谷真奈美 (久友 長女) 川倉	石戸谷慎悟 (四五郎 長男) 金木	石戸谷憲悟 (四五郎 2男) 金木	須藤 公美 (利幸 2女) 金木	江良 昭彦 (宇逸 2男) 嘉瀬	泉谷 光成 (岳身 長男) 川倉				
成田 祐則 (好広 長男) 中柏木	成田 義仁 (義晴 長男) 金木	中村 幸貴 (清治 長男) 金木	今 克之 (啓二 2男) 嘉瀬	成田真優美 (義道 長女) 中柏木	山中 利昭 (利美 3男) 嘉瀬	山田 賢聖 (精也 2男) 金木	竹谷 正則 (則衛 2男) 喜良市	油谷 真紀 (光雄 2女) 喜良市	宮城 武 (守 長男) 金木	田中 寿一 (朝五郎 長男) 金木	杉本喜代子 (喜美雄 2女) 静岡県	今泉 孝一 (孝之 長男) 川崎木	金 恵美子 (三郎 長女) 金木	佐藤 きぬ子 (誠二 長女) 喜良市	尾崎カヨ子 (兵吉 長男) 中柏木	原田 晴正 (熊吉 4女) 横濱市	加藤 敏秋 (定衛 3男) 喜良市	藤井 伝蔵 (千恵子 長女) 喜良市	鎌田 ツル (高輝 長女) 金木	山宮 秀 (辰造 2男) 新瀨	大川 あき子 (勝之助 長女) 中柏木	佐藤 次男 (順造 2男) 中里町	毛内 良一 (幸之助 長男) 五所	中村 ミツ子 (市太郎 3女) 金木	清村 昌弘 (弥美 長女) 静岡	沢村 潤子 (喜代治 長女) 嘉瀬	浅谷 昭次 (勇衛 2男) 青森	渡谷 久美 (長四郎 5女) 嘉瀬	江中 敏子 (直義 2女) 五所	藤田 清一 (美代司 2男) 青森	横井 圭紀 (定太郎 3女) 金木	白川 悦子 (三太郎 長男) 喜良市	川村 昭次 (勝美 長女) 東京	古川 哲義 (堅造 2男) 神奈川

長女

自衛官募集のしおり



白藤 幸和子 (幸行 長女) 川倉	泉谷 恵子 (敏夫 長女) 喜良市	河村 あい子 (信夫 長女) 喜良市	竹内 孝子 (孝一 長男) 喜良市	菅野 淳子 (年 長女) 東京	佐々木 寿子 (繁次郎 長女) 三市	山中 優 (徳信 長男) 嘉瀬	田村 由博 (長松 3男) 弘前市	加藤 忍 (由松 2男) 金木
原田のり子 (泰子 長女) 喜良市	藤田 芳雄 (幸正 長男) 喜良市	今 幸子 (正太郎 長男) 喜良市	鎌田 多美子 (保坂 長女) 喜良市	佐藤 尚之 (カツ 長男) 喜良市	栗田 尚之 (茂雄 長男) 喜良市	浅原 津雄 (原美津雄 長男) 喜良市	大橋 行雄 (茂雄 長男) 喜良市	三上 信一 (中谷 長男) 喜良市
孫三造 (常吉 長男) 川倉	常吉 常吉 (常吉 長男) 喜良市	康次 康次 (長男) 喜良市	福次 福次 (長男) 喜良市	主 治 (養子 長男) 喜良市	勝 正 (養子 長男) 喜良市	正 雄 (養子 長男) 喜良市	茂 雄 (養子 長男) 喜良市	忠 雄 (養子 長男) 喜良市

昇任を望む人
進学を望む人

参議院
青森県選出議員
補欠選挙の
投票日です

6月17日

告知板

阿部 男治 (65才) 嘉瀬	田中 良明 (39才) 金木	田中 良政 (40才) 時田	鳴海 清春 (41才) 嘉瀬	野宮 カ子 (75才) 金木	其田 乙吉 (75才) 川倉	土岐美佐子 (3才) 嘉瀬	須崎 乙吉 (93才) 喜良市	内海 為三 (68才) 嘉瀬	高森 いくよ (83才) 嘉瀬	高森 いくよ (91才) 金木
おくやみ申し上げます (四月届出分)										

金木町選管